

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.5
1 音環境				4.0	0.15	3.5	1.00	3.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				5.0	0.50	4.1	0.50	
1 開口部遮音性能		T-2サッシ以上を使用。		5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		Dr-50以上を計画。		-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		Lr-50の構造計画としている。		-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音				-	-	-	-	
2 温熱環境				2.7	0.35	4.0	1.00	3.6
2.1 室温制御				3.3	0.50	4.0	1.00	
1 室温				3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		断熱等性能等級4を取得予定。		4.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.1	0.25	3.0	1.00	2.7
3.1 屋光利用				3.0	0.30	3.0	0.50	
1 屋光率				3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.50	
1 屋光制御				1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				1.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		建築材料はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、低VOCの建材も採用。		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4
1 機能性				3.4	0.40	4.4	1.00	4.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		Gbitクラスのブロードバンドが使用可能な環境が整備されている。		-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画		設計コンセプトを実現するために床仕上げ材は石を採用。モデルルームにて照明の配置・数量を検証し、自然環境になじむ空間造りに努めた。		4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		風除室扉が同時にあかないよう2.1m離して設置。外部金属はアルミ等採用。		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3を取得予定。		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		リビング・主寝室:床フローリングt12(二重床 H125)、壁ビニルクロス(PB t12.5)、天井ビニルクロス(PB t9.5)		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	2.8	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1 階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		構造部材を痛めることなく修繕、更新できる	4.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物高さ、外壁位置、色彩又は植栽を総合的に計画し周辺環境との調和を図った。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱等性能等級4を取得予定	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.81、LED照明設備を導入。	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		集材材(カウンター)、合板(床)	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、二重床も採用している。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP≤3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率65%。	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		ディスプレイ設置。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外広告照明は行わない計画とした。	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	